

マニラ日本人学校の日本語学級の実態及び 日本語指導について

マニラ日本人学校

全校児童生徒数：455人（小学部 383人
中学部 72人）

本校の特色：水泳指導
英会話
日本語学級
現地校交流

マニラ日本人学校の国際結婚家庭数及び 日本語学級入級者数について

本校の国際結婚家庭数

66家庭（小学部 48 中学部 18）

本校の国際結婚児童生徒数

85人（小学部 66人 中学部 19人）

本校の日本語学級入級者数

35人（入級者は国際結婚家庭だけではない。）

本校の日本語指導の特色

- 週一時間の日本語学級（毎週金曜日 6限目）
→小学部4年生以上はクラブと併設して行っている。
- 在籍学級での日本語指導及びバイカルチュラルの視点を取り入れた取り組み（今年度の9月より）

日本語学級に入級している児童の実態

今年度は、小学校1年生から小学校6年生の児童が日本語学級に入級している。

日本語力が十分でない児童もいれば、日常会話はできるが、学習言語力が十分でない児童も入級している。

日本語学級に入級している児童の実態

日本語力が十分でない児童について

基本的な日本語が十分に理解できないことから、授業中はもちろんのこと日常生活でも困り感を覚える児童は少なくないと考えられる。

例えば、友だちとトラブルになった際に、自分の気持ちを上手く自分の言葉で表現できず、泣いてしまったり、手が出てしまったりするのである。このように学習面だけでなく、生活面、対人関係においても困っている場面をよく見かける。

日本語学級に入級している児童の実態

学習言語力が十分でない児童について

日常会話はできるが、学習言語力が十分でない児童も入級している。

海外生活が長い、もしくは生まれてからずっとフィリピンで生活している児童は、日本で生活していれば、当たり前前に体験することを体験していなかったり、当たり前前に知っていることを知らなかったりする。そうした経験不足から、国語や社会の学習でつまづく場合がある。

今までの日本語指導について

入級している児童の日本語能力は、それぞれ異なる。



そのため

カリキュラムはなく、その児童の実態に合わせた指導を学年で行っている。

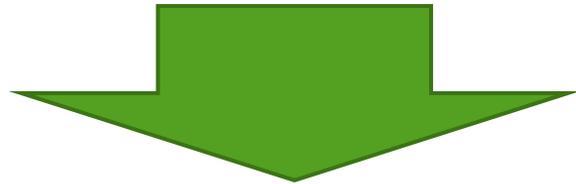
- ・学期ごとに児童の変容を記録し、次年度への引継ぎがスムーズにできるようにしている。
- ・児童が日本語学級で行った活動やプリント等も記録に残し、次年度に引き継ぐ形をとっている。

現在の日本語学級

- 1年生から3年生
年間の活動案を作成し，活動案に沿って指導を行っている。

○現状

- ・ 基本的には先行学習で行う。
- ・ 学級の実態や学習の進度によって，活動案をもとに活動を変更する場合もある。



来年度に向けて

- ・ 教科書の改訂に伴い，年間計画を作成する。
- ・ マニラ日本人学校の在籍児童の特色を見出し，より児童にあった指導内容を考えていく。

1年生の活動例

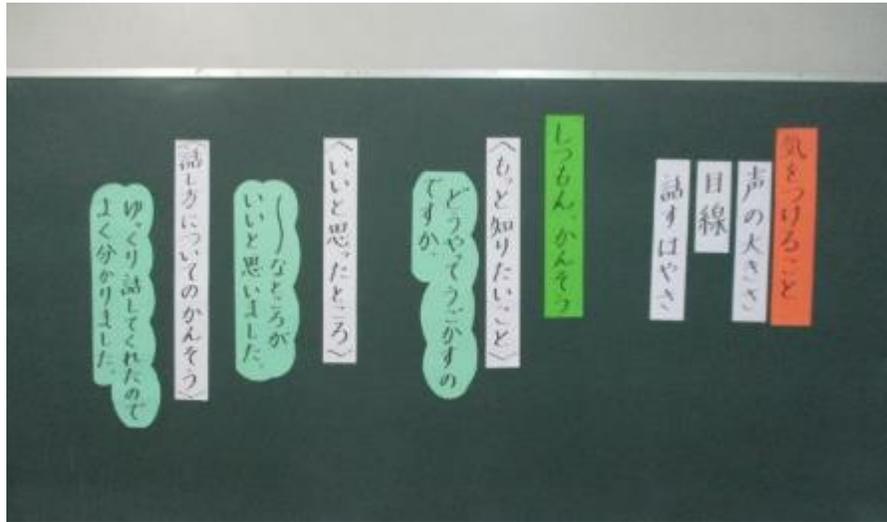


「じどう車くらべ」の先行学習



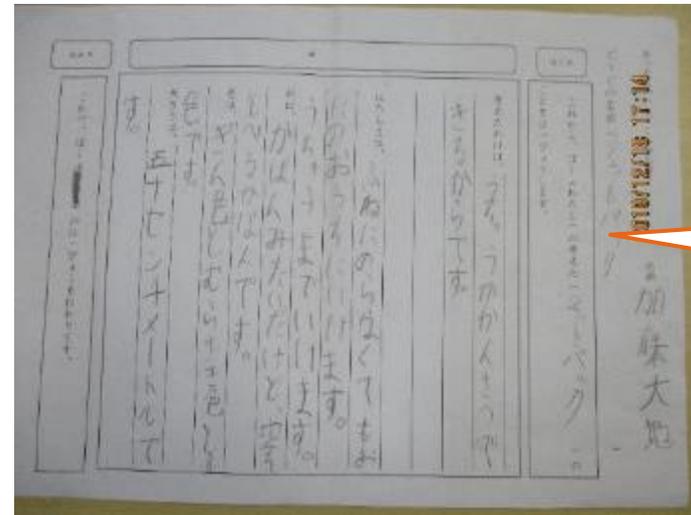
車のおもちゃを動かしながら、車の「しごと」や「しくみ」について学びました。

2年生の活動例



「あったらいいな」と思う道具を
絵に書き、その絵をもとにその道具の
紹介文を書きました。

絵を描いたことで、文章を書く活動に
スムーズに入ることができました。



「あったらいいな、こ
んなもの」の先行学習

3年生の活動例



「ことわざを調べよう」
の先行学習を行いました。
授業の始めに、かるた遊び
を行うことで、ことわざへ
の興味・関心を高めました。

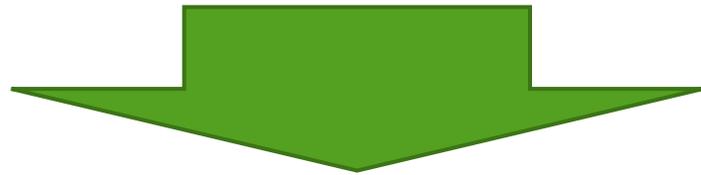
現在の日本語学級

■ 4年生から6年生

児童の実態に合わせて活動案を考え、指導している。

○現状

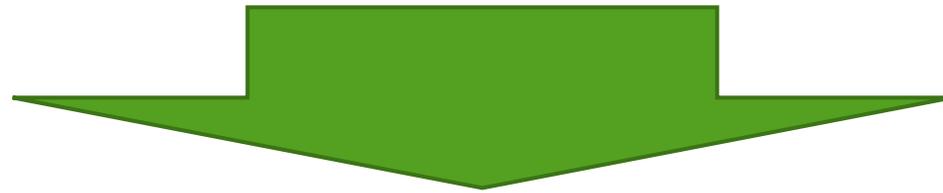
- ・ 従来通りの形で指導を行っている。
- ・ 5年2組は先行学習を意識して、社会や算数を中心に指導を行っている。



- ・ 児童の実態が学級によって大幅に異なるので、引き続き、児童の実態に合わせた指導を行う。
- ・ どの学級も先行学習を意識し、教科横断型の指導が行えるように意識をする。

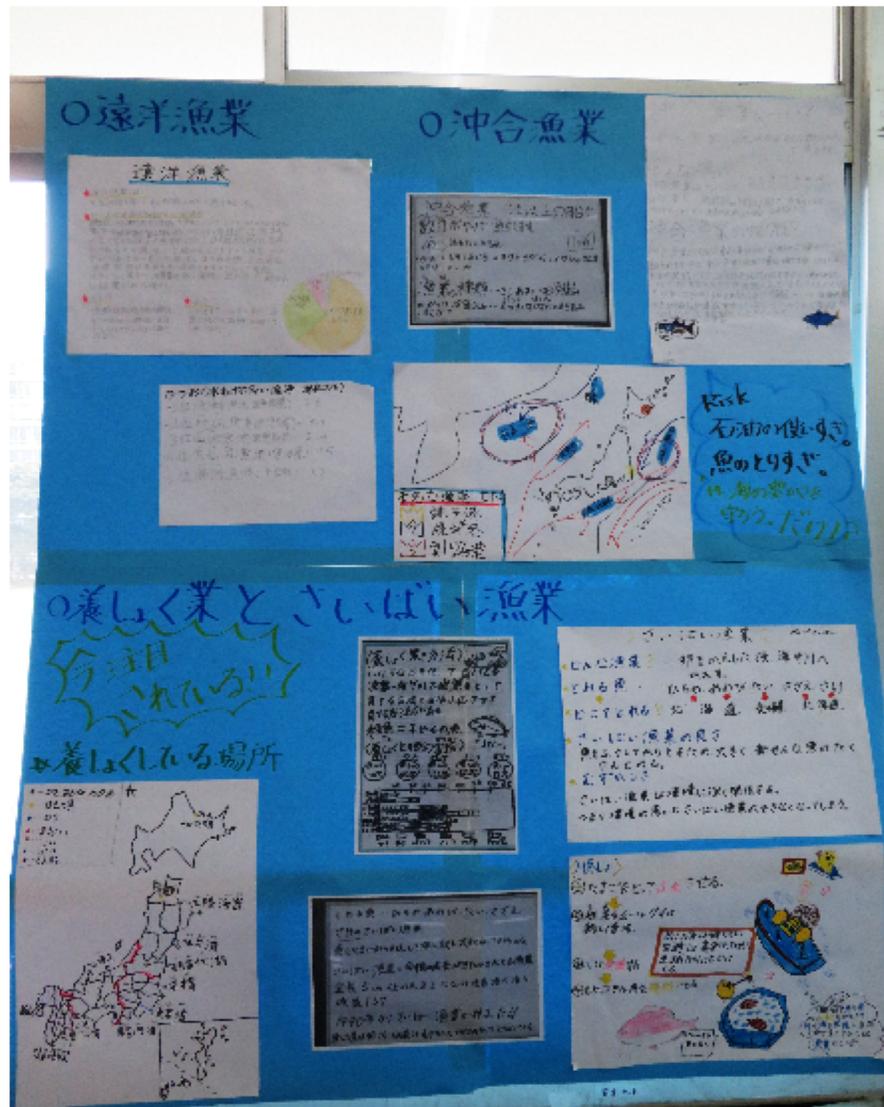
在籍学級での取り組みについて

現在は社会を中心に，日本語指導及びバイカル
チュラルの視点を取り入れた指導を行っている。



- 現地理解教育を取り入れる。
- 日本とフィリピンの現状を比較する。
- 調べ学習をしてまとめたことを発表する等の豊富な言語活動を取り入れる。

5年生の活動例



図や絵を活用したり，モデル文を使用したりするなど，児童が授業に参加しやすい環境作りをする。フィリピンの文化や現状などを学習に取り入れることで，広い視野をもって学習を進めることができる。

これからの日本語学級

- ・ 新入生以外の入級テストの廃止
- ・ 先行学習を意識した教科横断型の指導
- ・ 1年生から3年生までは年間計画を作成し、実践する。

学校全体で子どもたちを育てていく意識をもち、みんなで取り組む。

ご清聴ありがとうございました。